

※参考資料 渋滞損失時間(内閣府沖縄総合事務局「沖縄のくらしや旅行のありたい姿と、そのための交通の姿」P5)、平日朝夕旅行速度(混雑時旅行速度/令和3年度全国道路・街路交通情勢調査/通勤・通学時の主な交通手段(公共交通分担率)/令和2年国勢調査)

現状

人口1人あたりの自由時間が年間55時間もロス!

朝夕混雑時の時速は10.5km/h ※那覇市

通勤・通学のマイカー利用は66.1%

時間のロスが

多すぎる!

渋滞がなければ無駄にした時間を仕事に使えたりやりたいことに使えるのに!

こうしたら解決できるかも!

バスが時間通りに運行

通勤や通学をバスやモノレールに切り替え

駅周辺の整備

今回のまとめ

渋滞緩和の鍵は公共交通機関の利用促進と整備にアリ!

マイカー利用に慣れている人にとって公共交通機関への切り替えは躊躇するかもしれません。でも、バスやモノレールの利用環境の整備がさらに進めば、車移動の渋滞による無駄な時間を取り戻すことにつながり、さらには誰にとっても利用しやすく、環境負荷を減らせる社会の実現もきっと可能になるはずですよ。



神谷先生、琉球大学工学部の学生、沖縄公庫で共同調査のプレス発表

渋滞解消の鍵は公共交通利用促進はどう実行する?
神谷先生は琉球大学工学部社会基盤デザインコースの学生および沖縄振興開発金融公庫と共同で、本島内の陸上交通の現状と課題について令和6年度に調査を実施。その中でマイカーから公共交通へ切り替える人を増やすには、バ

スの定刻運行、駅周辺を整備しマイカーから公共交通機関への乗り換えの利便性向上、急行バスの便数を増やすことなどを挙げています。また、令和7年度には地域交通のり・デザインをテーマに調査を行い、昨年度から一歩進んで交通の空白地帯(徒歩や公共交通で通学や通院、買い物に行けないエリア)でどのよう



交通渋滞でロスしている時間は、本当は趣味や仕事などもっと有意義に使えるはず…。

全国ワーストの交通渋滞で1人55時間もロス! 解決の糸口はどこにある?

教えてくれる人



神谷 大介 先生

琉球大学工学部工学科社会基盤デザインコース教授。兵庫県伊丹市生まれ。京都大学大学院工学研究科博士後期課程終了。土木計画、防災計画、環境計画を専門とする。

タイムイズマネー!
時間が渋滞で奪われる

混んでいなければ20分程度の距離が、雨降りの日の通勤や通学では1時間もかかってうんざりした経験はありませんか? 沖縄の交通渋滞は全国でもワーストレベル。ひどい時は時速10キロ程度のスピードでしか進みません。この渋滞がなければ時間をもっと有効に使えるはずなのに…。事実、こうした渋滞によって、一人当たりの可処分時間(自由に活動できる時間)が年間55時間も奪われていることが調査により分かっています。社会問題の一つでもある沖縄の交通渋滞に関して研究をしている琉球大学工学部教授の神谷大介先生にお話をうかがいました。



朝夕のラッシュ時はテールランプがずっと点灯。CO₂排出量も多く環境への負荷も大きい

由の一つはマイカー利用の多さとのこと。全国平均利用率が46.9%に対し、沖縄は66.1%と約1.4倍。マイカーから公共交通機関に切り替えれば、渋滞緩和につながりますが、バスは時間通りに運行されなかったり、近年は運転手不足も深刻。モノレールは駅周辺の駐車場の少なさで乗り換えが不便など、さまざまな課題があるのが現実です。

